



学習指導案

「インターネットを活用した特殊教育諸学校間の共同学習」

中村 好則

(1) 指導実践日時：平成 10 年 11 月 19 日(木曜日) 第 2 校時

(2) 指導計画 (32 時間扱い, 本時 38/46)

ホームページの内容の検討.....	2 時間
ホームページレイアウトの検討.....	2 時間
ホームページ作成.....	16 時間
ホームページの検討.....	4 時間
電子メールによる意見交換とホームページの修正.....	10 時間
ホームページの検討.....	4 時間 (本時 4/4)
ホームページの修正.....	8 時間

(3) 本時のねらい

ホームページの内容や表現が適切かどうか、技術的に改善の必要な点があるかどうかを客観的に評価することができる。

ホームページの内容や表現について、他の人の意見を聞き、自分の考えを述べることができる。

(4) 指導過程

段 階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入 (10 分)	1. テレビ会議システムを活用し、お互いにあいさつを行う。 2. 本時の学習内容を確認する。	本時の学習内容を、黒板に書いておく。
展 開 (30 分)	3. テレビ会議システムを活用して、自己紹介を行う。発表は、養護学校教師、生徒、聾学校教師、生徒の順に行う。 4. それぞれが作ったホームページについて検討し合う。 (1) 内容や表現が適切かどうか検討し合う。 著作権、商標 個人情報 文章 その他 (2) 技術的に改善が必要な点があるかどうか検討し合う。 レイアウト 画像の処理 その他 5. お互いの意見をまとめ、ホームページの改善点を確認する。	テレビ会議システムのアプリケーションソフト共有機能を活用して、文字による意見交換も併用する。 文字の入力は、発表者以外の生徒もしくは教師が行う。 各学校のホームページを開いておき、どこの内容についての意見かがわかるようにする。 始めに養護学校から意見を述べ、聾学校が答える。次に聾学校から意見を述べ、養護学校が答える。



ま と め (10 分)	6. 本時の活動についての感想を発表し合う。 7. 各学校の教師から講評をもらう。 8. 次時の学習内容について確認する。	発表は、養護学校生徒、聾学校生徒の順に行う。 本時で課題として残ったことは、後日各学校で検討し電子メールで送ることを確認する。
-----------------	---	--

(5) 評価

- ホームページ上の内容や表現が適切なものかどうかを的確に判断できたか。
- 技術面の課題に気づくことができたか。
- 他の人の意見を聞き、他の人の考えを理解することができたか。
- 自分の考えを相手に正確に伝えることができたか。